



春闘スタート!

勝ち取る! 2017賃金引き上げのたたかい! ①

来月開催される定期中央委員会にて2017春闘の方針が決定し、賃金引き上げのたたかい(春闘)がJRにおいても本格的にスタートします。私たち東日本ユニオンは、所属組合を問わず職場から春闘を盛り上げ、要求実現を目指して取り組んでいきます。

まずは、昨年の春闘の振り返りや連合(ナショナルセンター)、経団連、政府の動向、JR東日本の経営状況、世間相場や経済状況等、様々なことを振り返り2017春闘の情勢を知りましょう。

昨年、JR東日本はどうだったか思い出してみよう

昨年は一昨年に引き続き、例年より大幅に遅く3月31日に会社回答がありました。内容は「定期昇給の実施、所定昇給額の10分の1+定額500円」「GSの基本賃金に500円加算、エルダー社員の精勤手当に10,000円加算」と一昨年の回答をいずれも下回るものでした。

昨年のベアは基準内賃金平均で1,175円と、一昨年の平均2,229円の約半分という数字となり、この額は私たちの要求であった一律ベア6,000円には遠く及びませんでした。昨年は、一昨年の業績を上回り、単体では過去最高の経常利益・当期純利益を記録したにもかかわらず前年を下回る回答という到底納得できないものでした。

ちなみに、官製春闘と揶揄された2015春闘でしたが、大手企業の妥結額は「日立製作所・パナソニック・東芝・三菱電機・富士通・NECなどの電機関係はベア1,500円。自動車関係ではトヨタ自動車1,500円、日産自動車3,000円、ホンダ1,100円」などの結果でした。

2017春闘 本格的にスタート!

1月23日から労使フォーラムが始まり、事実上の春闘がスタートします。

連合(労働組合)はベースアップの統一要求を「2%程度を基準とする」と見られています。一方の経団連(会社)は、昨年同様、年収ベースでの賃上げを考えており、ベースアップではなく手当等の一時金で年収を前年よりUPさせるという方針です。

他産業では、すでにベースアップ要求額を決定した労働組合も出てきています。

集中回答日は、3月15日という報道も出ています。今年もこの集中回答日から遅れて回答が出されることも考えられますが、職場から春闘を盛り上げ、要求実現に向けて取り組んでいきましょう!